

提出課題 「あなたが『何かを作り直したい』と思うのは、どのようなときか。具体例を挙げて、四百字程度で書きなさい。」

### 【添削】

私がおかを作り直したいと思うときは、自分の美意識や理想と現実の差が激しいとの間に大きな差があると感じるときだ。(改行不要) それは自分の作る作品のみならず、日常に溢れる物も含まれる。しかし、特に自分の作品に対して思う気持ちは自分以外の作品を見る時よりも何倍も多く強く感じる。

ある日、私の中にはとても作りたいたいという気持ちも創作意欲が心の奥を底から湧き上がっていた。頭の中に作は既に設計図もあり、自分の中からも自分自身でこれを現実世界で再現し、実在させたかった。だがしかし、作り上げた物は自分の思い通りにはならず、自分の技術力の足りなさや、自分の理想との差を痛感し、その作品が自分の作ったものと他人に思われたくないと思った。そのうえ、作品を作り直して自分の記憶ごと塗り替えたいとさえ思ったのだ。

そのような気持ちはただの弱さかもしれないが、私にとっては自分自身を成長させてくれる感情だとも思っており、(改行不要) 私は作り直したいという気持ちを大切にせず、これからも葛藤し下しながら生きていきたい。

### 【良い点】

- ・ 自分自身の価値観や感情がきちんと表現されています。
- ・ 文章の構成は、「主張」、「具体例(経験)」、「結論」という順で筋道立てて論じられています。
- ・ 「結論」も「主張」から飛躍したものではなく自然なものです。
- ・ 字数は三八〇字未満でしたが、段落で改行していることを考えれば十分でしょう。

### 【改善点】

- ・ 表現がやや不自然な箇所がいくつかありました。
- ・ 改行が少し多すぎます。改行しすぎると、かえって読みにくくなったり、字数が少なくなり内容が薄くなってしまうので気をつけましょう。
- ・ 読点(、)が少なく、意味のまとまりが分かりづらい箇所がいくつかありました。
- ・ 「だがしかし」のような話し言葉に見える表現は避けた方が良いでしょう。
- ・ 自身の経験でとりあげた「作品」の内容をもう少し具体的に説明した方が、説得力が増したと思います。
- ・ 「思い通りのものを作れなかったから作り直したいと思う」というのは、一般的なものです。そこをスタート地点として、自分独自の価値観や感性をさらに深く論じると、なお良かったかもしれません。しかし、あまり突き詰めようとすると試験時間が足りなくなりますので、これはさらにワンランク上のアドバイスだと思ってください。試験の場で深掘りするのには難しいですから、普段から考えておくのが良いです。

### 【総評】

- ・ 実際の試験では、時間内にこの程度のもを提出できれば、十分合格圏内だと思います。

### 【評価】

- ・ 表現の適切さ 5/7
- ・ 文章の構成 6/7
- ・ 論理性 6/7
- ・ 独自性 6/7
- ・ 字数 2/2

合計スコア 25/30

\*スコアはあくまでも参考です。実際の試験の採点基準とは異なります。